

# 平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子第1回戦】 第1日目 Aコート 第3試合

チームA			チームB
京北	88	22 1Q 10 16 2Q 17 15 3Q 15 35 4Q 18 OT	60
東京			取手松陽
			茨城

## 京北

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田渡 修人	27	1	4	11	15	2	3		6	5	7	3	1	37	
5	秋 真志	32	2	6	11	18	4	5	2		12		3	1	36	
6	上原 拓也	10		2	5	5			1	1	1			1	22	
7	井上 晃伸	8	2	4	1	2			1	1	1	2			22	
8	萩原 和也	4		5	1	5	2	2	2	1		3	1		35	
9	工藤 竜二														1	
10	金 賢	3			1	2	1	2	5	3	7	2	1	4	39	
11	山下 泰史					1			1						2	
12	石川 翔一	1				1	1	2	1				1		1	
13	川田 誠	2			1	1									1	
14	高松 雄大														DNP	
15	黒田 翔太郎	1					1	2							1	
16	中澤 浩司														DNP	
17	石津 大開														1	
18	橋本 大徳														2	
コーチ	田渡 優															
		88	5	21	31	50	11	16	13	6	27	12	12	5	6	200
		確率	23.8%	62.0%	68.8%				計	33						

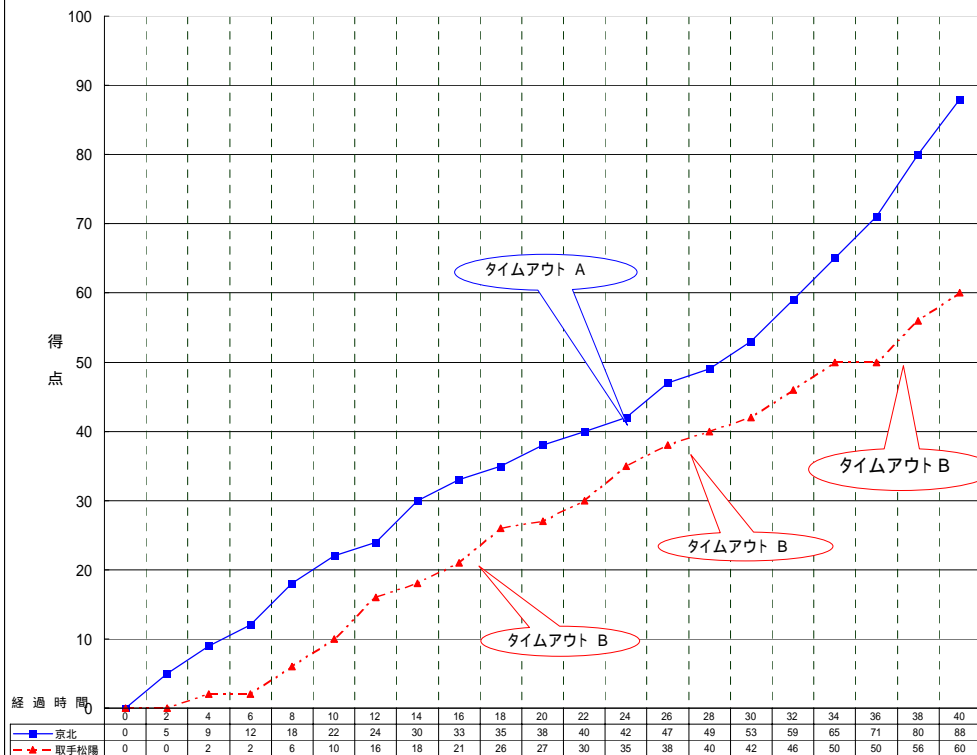
## 取手松陽

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	木曾 尚樹	7		3	3	6	1	2	2		3	2	2	5	33	
5	小山内 涼					3					2				11	
6	木森 勝也														DNP	
7	飯塚 智	2		1		1	2	2	1						3	
8	来栖 祥太	10	2	11	2	9			1	2	3		2		28	
9	松岡 一成	15	1	1	6	15			4	3	8	3	1	3	38	
10	飛田 浩明	20	4	18	4	14			3	9	4	1	1	1	39	
11	牧山 康太	4		1	2	5				1	3		2		23	
12	馬場 慶司	2		1	1	5			4		1	1			21	
13	鈴木 大輔								1	1					1	
14	高田 良宏														DNP	
15	清水 雄太														DNP	
16	斉藤 竜之介														DNP	
17	浅野 三史朗														DNP	
18	千野 雅織					1									3	
コーチ	佐藤 豊文															
		60	7	36	18	59	3	4	16	13	20	13	5	13	2	200
		確率	19.4%	30.5%	75.0%				計	33						

スターティングメンバー

出場選手

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

地元茨城県代表の取手松陽と東京第1位、京北の一戦。マンツーマンディフェンスを敷く松陽に対して、京北はオールコートゾーンプレスからゾーンディフェンスに対抗する。京北は#4田渡を中心に加算するが、ガード陣のターンオーバーと大黒柱#10金のファールトラブルで今ひとつリズムに乗れない。対する松陽は頼みの外角シュートが決まらず、苦戦。終わりに松陽#8来栖、#10飛田のミドルシュートが決まり何とか追いつく。第1P 22 - 10で終了。

第2P、松陽は#11牧山のドライブ、#8来栖の3pなどで追い上げ、1 - 2 - 1 - 1のプレスを敷き、京北のリズムを崩したいが#4田渡のドライブを止められず、点差が縮まらない。196cmのセンター#10金も4ファールながら頑張りを見せ、相手フォワード陣のシュートを狂わす。しかし、中盤に#4田渡が足首を負傷。京北ベンチに不安がよぎる。第2P 38 - 27京北リードで後半戦へ。

第3P、先手は松陽。#8来栖、#10飛田の連続3pとプレスからの速攻で40 - 35と5点差とし、たまたま京北はタイムアウト。たてなおしを図る。その後、京北#5秋の活躍と#7井上の3Pなどで再び点差を広げ53 - 42と11点リードで最終ピリオドへ。ここで調子に乗り切れてなかった京北ガード陣に勢いが戻ってきた。

最終ピリオドに入り、流れは完全に京北。リバウンドからの速攻に加え、#4田渡、#5秋のドライブが次々と決まり、松陽を88 - 58と振り切った。#4田渡と#5秋を中心にそのほかのガード陣が交代でつないだ京北が2回戦へ駒を進めた。

主審 水島 真一郎(千葉)

副審 飯野 英利(埼玉)

記入者 川崎 秀典